

令和5年度
(2023年度)

学校関係者評価報告書

令和 5年(2023年) 4月 1日から
令和 6年(2024年) 3月 31日まで

令和 6年(2024年)10月 28日

学校法人吉田学園
専門学校北海道自動車整備大学校

■令和5年度(2023年度)学校自己点検・評価について

学校関係者評価は、卒業生、保護者、地域住民、提携企業等の役職員等の学校関係者を選任し、専門学校北海道自動車整備大学校が実施した自己点検・評価結果に関する評価を行う。

また、学校関係者から、現状における課題について助言を得ることで、必要な改善に努め、学校運営や教育実践力等の向上を図る。

1. 対象期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

2. 委員会開催

第1回 令和6年10月28日(月)

3. 実施方法

(1)実施組織：学校関係者評価委員会

○評価委員：

| | |
|-------|---------------------------|
| 三野 雅章 | 一般社団法人札幌地方自動車整備振興会 常務理事 |
| 加藤 敦哉 | ダイハツ北海道販売株式会社 サービス部品部 部長 |
| 田畑 俊輔 | 北海道スバル株式会社 総務部 人事教育課 課長 |
| 新田 真也 | 北海道いすゞ自動車株式会社 総務部 次長 |
| 木田 政彦 | 株式会社エステイビジネスアシスト 人材開発部 次長 |

○学校関係者：

| | |
|-------|-------------------------------|
| 大山 節夫 | 校長 |
| 勝長 裕二 | 副校長 |
| 今野 和彦 | 一級自動車整備学科 学科長・二級自動車整備学科 学科長 |
| 前田 一也 | 一級自動車整備学科 副学科長・二級自動車整備学科 副学科長 |
| 伊藤 聖 | 一級自動車整備学科 副学科長・二級自動車整備学科 副学科長 |
| 小笠原 悟 | 主任 |
| 中谷 享弘 | 主任 |
| 道場 祐樹 | 主任 |
| 長内 昌志 | 学校事務部 部長 |

(2)評価基準：文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠している。

(3)評価方法：令和5年度学校自己点検・評価報告書に対する学校関係者評価

4. 評価項目

- (1)教育理念・目標
- (2)学校運営
- (3)教育活動
- (4)学修成果
- (5)学生支援
- (6)教育環境
- (7)学生の受け入れ募集
- (8)財務
- (9)法令等の遵守
- (10)社会貢献・地域貢献
- (11)国際交流

5. 評価項目に対する評価

(1) 4段階で点数評価しました。

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

(2) 令和5年度学校自己点検・評価報告書を基に評価を頂き、評価4未満のものを中心に、各項目の課題、対策について討議を行った。なお、委員会で提出された意見や質疑、提案事項については次の通りである。

① 項目4 学修成果について

資格取得率の向上について

- ・国家試験につながる問題を実習の中でも実施し、理解度を深める授業展開を昨年度に引き続き実施。
- ・今年度は昨年度に比べ試験対策期間を長くとり、合格率の向上に取り組む。
- ・成績不良者に対して個別に職員全員で対応していく。

退学率の低減について

- ・昨年に引き続き、学生の修学、生活状況の把握と課題の早期対応に向けた取り組みを強化する。
- ・目的意識の低い学生が昨年より増えてきているのではないか。整備士の必要性や仕事の内容を授業や学生募集時に伝えて目的意識を高める。
- ・専門学校を抱える問題として募集に関する宣伝ばかりになり学校の中身がうまく伝えられていない部分がある。在校生の様子から学校の現状を伝え、退学者の低減と合わせて考えていきたい。

② 項目7 学生の受入れ募集について

学生の募集活動について

- ・高校生の募集活動もちろんだが、今後は中学生や小学生へ業界のアピールが必要と思われ、少しでもクルマに興味を持ってもらえるようなイベント等も実施していきたい。
- ・一級、二級課程の定員未達について、今後は一級中心になっていくと思われる。一級中心で二級は経済的事情等に合わせ進めていくのが良いのではないか。
- ・業界の認知度を高めるため、オープンキャンパスにおける企業や他校との連携と高校等の出前授業の企業連携を実施していく。

項目1 教育理念

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった

項目2 学校運営

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった

項目3 教育活動

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった

項目4 学修成果

- ・項目評価 3.8
- ・資格取得目標については、二級ガソリン自動車整備士合格率 97.6%、二級ジーゼル自動車整備士合格率 97.6%、一級自動車整備士試験合格率 79.2%と、全国平均を上回る結果を出した。しか

し、学校目標である二級ガソリン自動車整備士合格率 100%、二級ジーゼル自動車整備士合格率 100%、一級自動車整備士試験合格率 90%は未達だったため、更なる問題傾向の分析、対策が必要である。

項目5 学生支援

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった

項目6 教育環境

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった

項目7 学生の受入れ募集

- ・項目評価 3.7
- ・入学者について、二級自動車整備学科は定員を満たした。しかし、一級自動車整備学科においては、定員変更で40名から50名に増員したが41名と目標の82%、約2割の定員不足の結果となった。この点については原因分析を行い、改善に努める必要がある。

項目8 財務

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった

項目9 法令等の遵守

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった

項目10 社会貢献・地域貢献

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった

項目11 国際交流

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった

以上